

『医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靱化事業
未来医療プロジェクト』
令和3年度終了課題の事後評価結果

開始 年度	終了 年度	研究開発 代表者	研究代表機関	職名	研究開発課題名
令和 元年	令和 3年	筋生田 整治	慶応義塾大学	講師	【マイクロ】熟練微細手技を人工再現する μ m超精密手術システムの開発
評価		力触覚技術の基本的な知財を持って展開し、またこの広い分野での応用が期待され、世界中の企業との連携が可能な開発技術である。熟練の技のデータ化への展開も可能であるため、計画変更はあったものの、変更した計画での成果が得られたと評価された。			